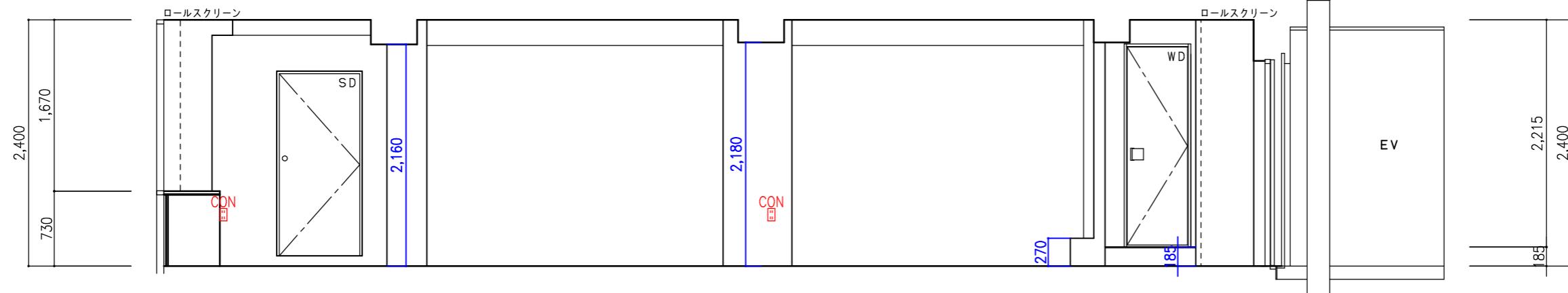
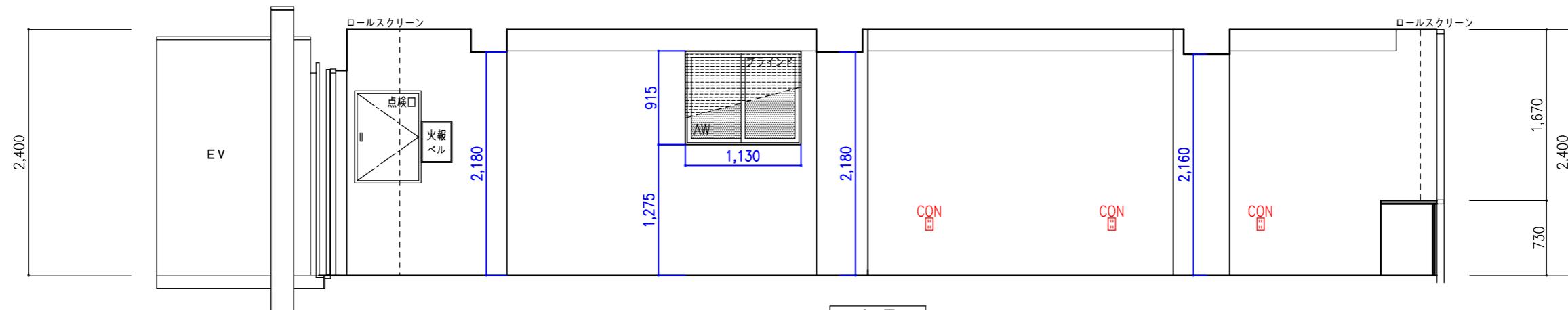


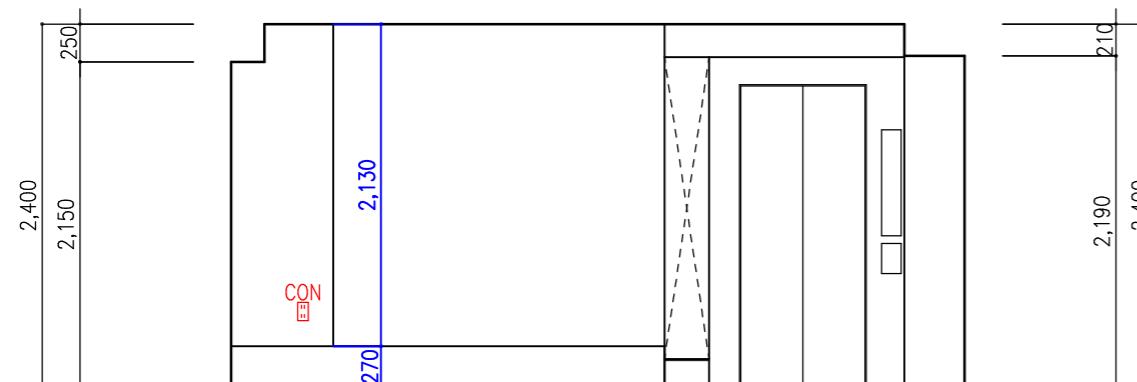
|      |  |         |               |       |            |       |
|------|--|---------|---------------|-------|------------|-------|
| NOTE |  株式会社 <b>KOGA</b> 一級建築士事務所<br>KOGA ARCHITECTS. OFFICE<br>東京事務所 福岡事務所<br><small>一級建築士事務所(知事 34414)号 一級建築士登録(大臣 126965)号 古賀 志雄美</small> | TITLE   | FESTAE 表参道ビル  | SCALE | ASSORTMENT | A.NO. |
|      |  |         | A 3 S=1:50    |       |            |       |
|      |  | D.TITLE | DRAWING       |       |            |       |
|      |  | 2階 平面図  | 日付 2026/01/13 |       |            |       |



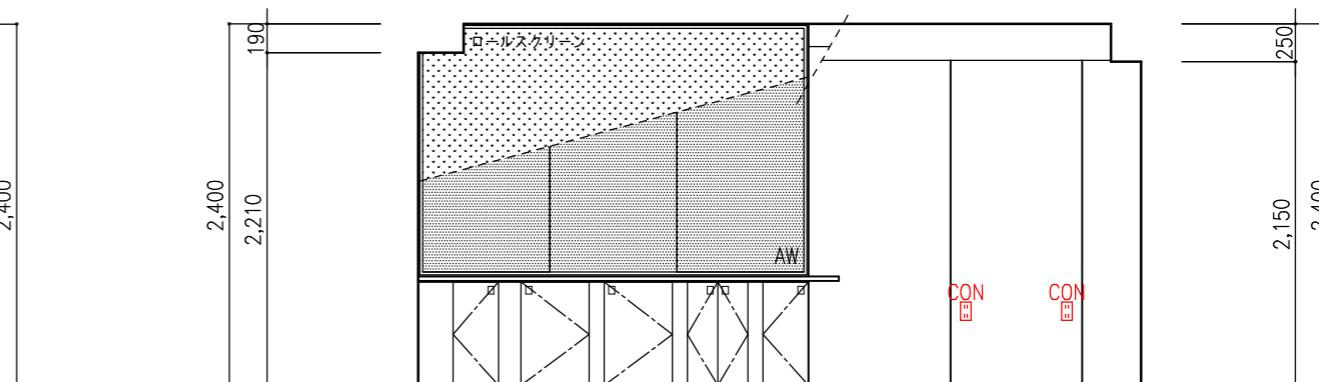
A面



C面

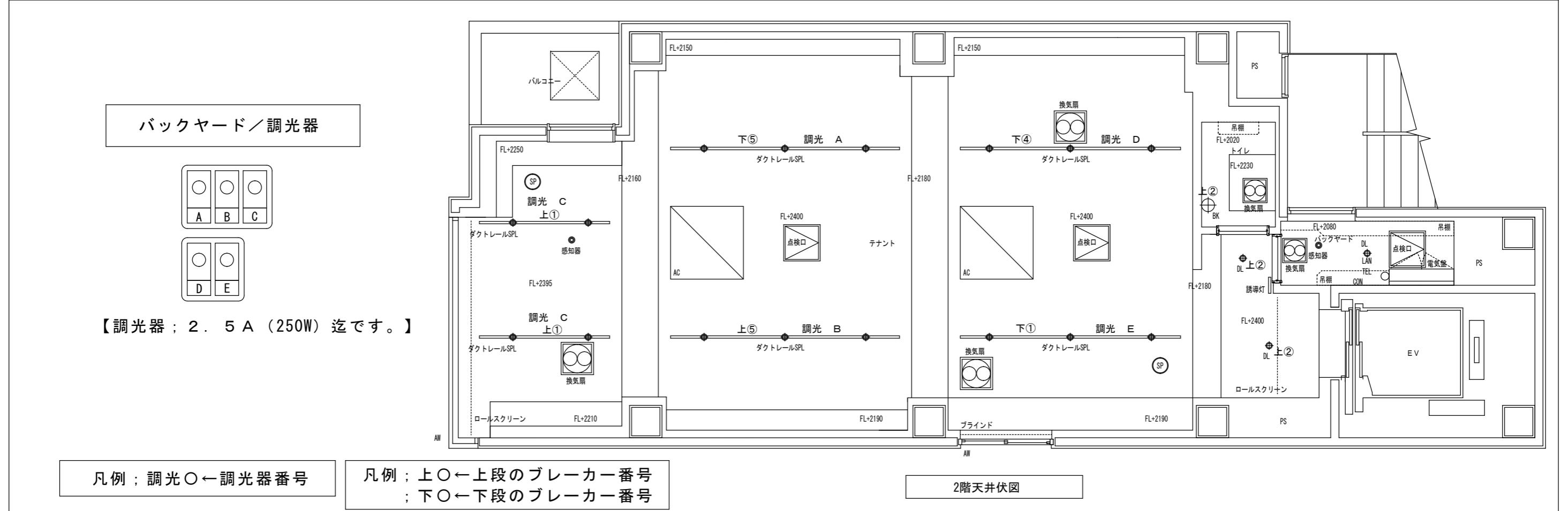
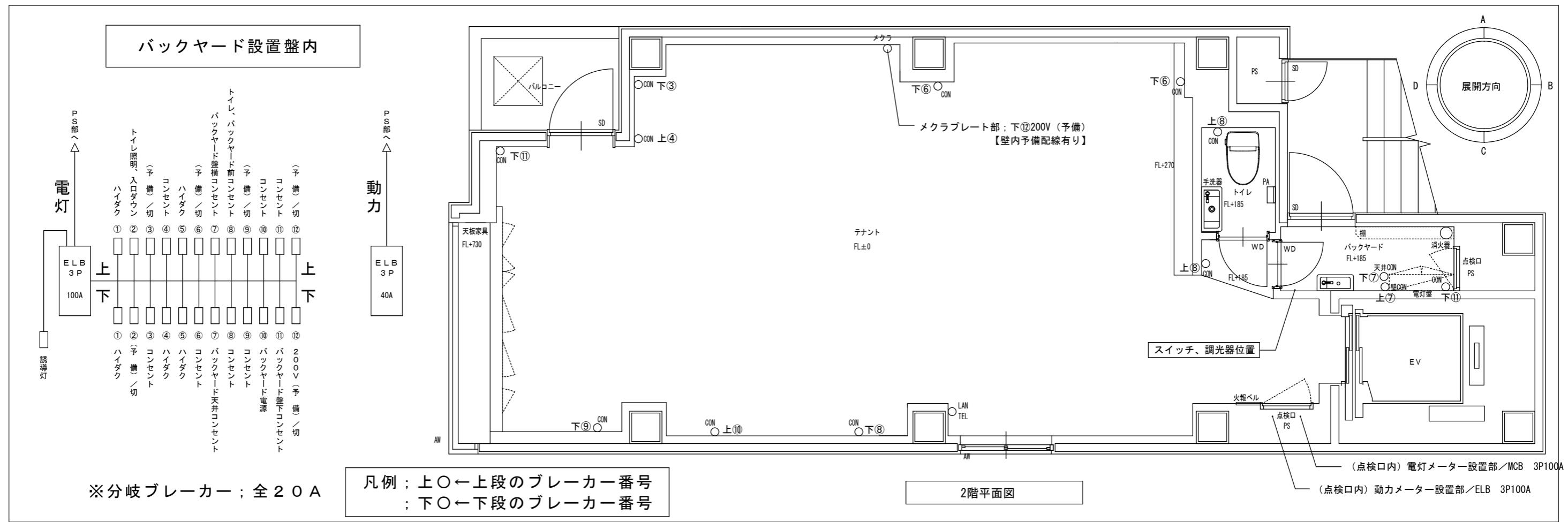


B面

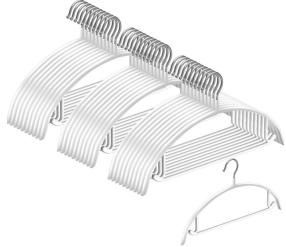


D面

| NOTE | 株式会社 KOGA 一級建築士事務所<br>KOGA ARCHITECTS. OFFICE                 |  | TITLE        | SCALE         | ASSORTMENT |
|------|---|--|--------------|---------------|------------|
|      | 東京事務所 福岡事務所<br>一級建築士事務所(知事 34414)号 一級建築士登録(大臣 126965)号 古賀 志雄美 |  | D.TITLE      | A3 S=1:50     | A.NO.      |
|      |   |  | FESTAE 表参道ビル | DRAWING       | A 002      |
|      |   |  | 2階 展開図       | 日付 2026/01/13 |            |





|       |     |                        |   |
|-------|-----|------------------------|---|
| ハンガー  | x20 | /                      |    |
| 照明    | x16 | LZS-9102NWW5           | <br>タイプ   位相・逆位相タイプ   |
| スピーカー | x2  | BOSE FREESPACE<br>FS2C |    |
| アンプ   | x1  | BOSE VERITAS<br>1100BH | <br><b>Veritas 1100BH</b><br>(100W x 1ch / Hi)<br>bluetooth付 |

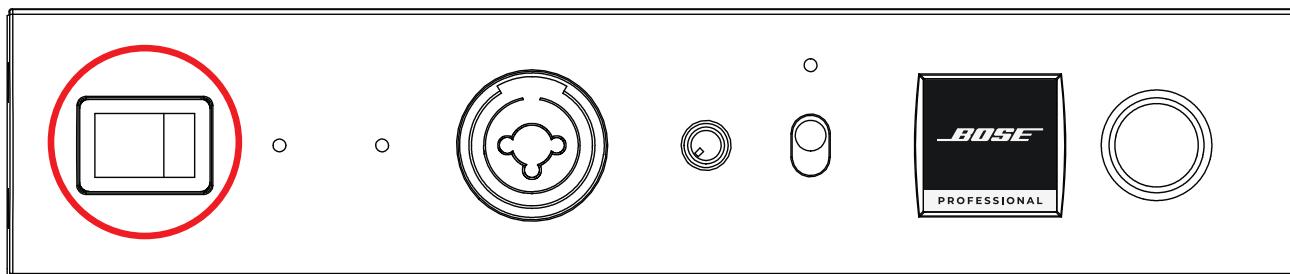
[アンプ資料](#)

[スピーカー資料](#)

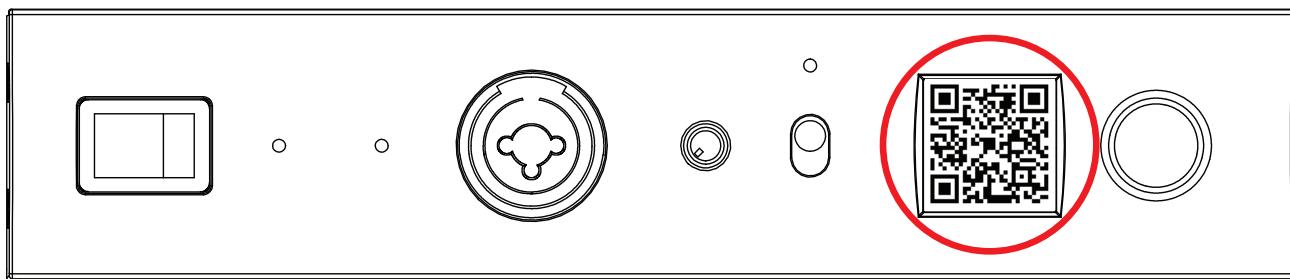
[照明器具](#)

## Veritas 250BL/1100BHアンプの使用開始方法

ON/OFFスイッチを「ON」にしてアンプの電源を入れます。



数秒後、OLED画面に自動的にQRコードが表示されます。QRコードをスキャンして、Veritas製品のWebサイトに簡単にアクセスできます。QRコードをスキップしてボリュームコントロールメニューにアクセスするには、ロータリーエンコーダーを押してください。



## Veritasコントロールメニュー オプション

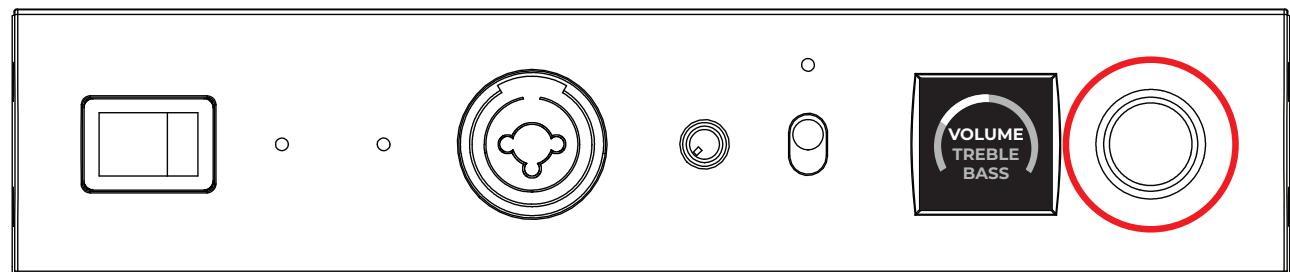
### 音量、高音、低音の調節

ロータリーエンコーダーを押して、希望するコントロール (Volume, Treble, Bass) がハイライトされるまで切り替えます。

**音量の調節:** ロータリーエンコーダーを回して、希望の音量に調節します。

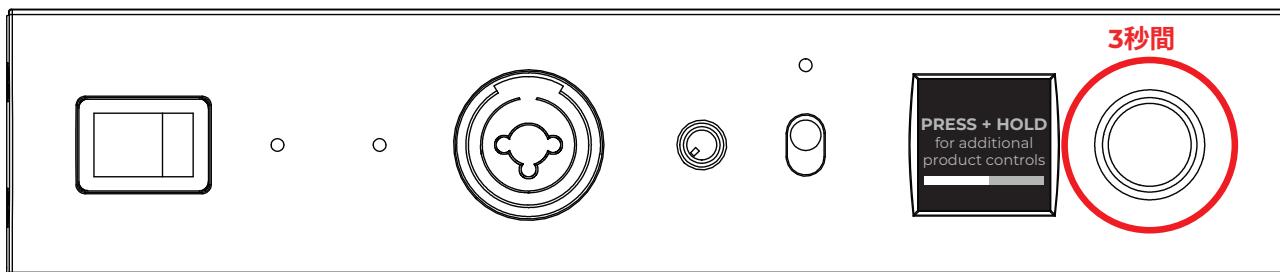
**高音の調節:** ロータリーエンコーダーを回して、希望の高音レベルに調節します。

**低音の調節:** ロータリーエンコーダーを回して、希望の低音レベルに調節します。



## 製品設定とコントロールオプション

その他の製品コントロールにアクセスするには、ロータリーエンコーダーを3秒間以上押し続けます。



メニュー オプションを選択するには、ロータリーエンコーダーを回して希望のオプションをハイライトし、ロータリーエンコーダーを押して詳細設定を表示します。



**EQ:** ロータリーエンコーダーで希望のEQプリセットを選択します。

**Output:** 「Mono」を選択すると、すべてのオーディオ信号がミックスされます。「Stereo」を選択すると、オーディオ信号が分離されます。

**注:** このオプションは250BL モデルのみ利用可能です。

**Page Mic:** 「Norm」を選択すると、ページマイクの音量が出力音量に連動します。「Bypass」を選択すると、ページマイクの出力音量が最大になります。

**Page Duck:** ページ使用中におけるページ信号下でのオーディオの減衰レベルを選択します。

**Front Mic:** フロントマイクを使用時に音楽の音量を減衰 (Duck) するか、ミックス (Mix) するかを選択します。

**Aux Page:** 「Yes」を選択すると、AUX出力にページング音声を送ります。「No」を選択すると、AUX出力にページング音声が送られません。

**Src Sel:** ControlCenter CC-1ゾーンコントローラーが接続されている場合、アンプ前面の切り替えスイッチのソース選択を再び有効にするには「Front」を選択してください。

ControlCenter CC-2ゾーンコントローラーが接続されている場合、リモコンコントロールのソース選択を優先するには「Remote」を選択してください。

ControlCenterゾーンコントローラーが接続されていない場合、どのオプションを選んでも前面のスイッチでソース選択をコントロールします。

**Dyn EQ:** ダイナミックEQを「On」または「Off」にします。ダイナミックEQは音量に応じて自動的に低音レベルを調節します。

**Input A/BT:** 「BT」を選択すると、ブルートゥース®ワイヤレス接続のソースが優先されます。「A」を選択すると、ブルートゥース®ソースよりRCA入力Aを使用します。デフォルトのソースは「A」です。

**BT Settings:** 「Connect」を選択すると、アンプがペアリングモードになり、ブルートゥース®デバイスと接続できます。ペアリング中はLEDが点滅し、ブルートゥース®デバイスと接続されると点灯します。

「Forget Device」を選択すると、ブルートゥース®デバイスの接続を解除してアンプのメモリから削除します。

「Name」を選択すると、ブルートゥース®ワイヤレス接続の識別名を設定できます。デフォルト名は「ZONE1」です。

**注:** 新しい名前を指定した場合、変更を反映させるには、アンプの電源を入れ直す必要があります。

**Scrn Lock:** 「Vol Active」を選択すると、音量以外のすべてのコントロールをロックします。

「All Controls」を選択すると、音量も含めてすべてのコントロールをロックします。

「Disable」を選択すると、画面ロックを解除します。

OLED画面のロック解除用PINコードを設定するには、「Set PIN Code」を選択し、4桁のPINコードを入力します。デフォルトのPINコードは「0000」です。

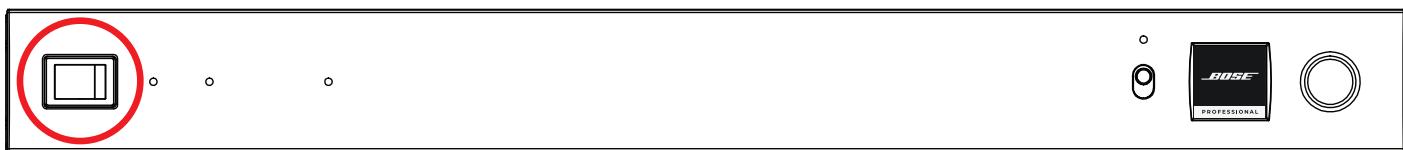
**Web QR:** QRコードをスキャンして、Veritasの製品ページにアクセスします。

**System Info:** 最新のファームウェアバージョンがここに表示されます。

「Factory Reset」を選択すると、アンプが工場出荷時の状態にリセットされます。

## Veritas 2160BL/2160BHアンプの使用開始方法

ON/OFFスイッチを「ON」にしてアンプの電源を入れます。



数秒後、OLED画面に自動的にQRコードが表示されます。QRコードをスキャンして、Veritas製品のWebサイトに簡単にアクセスできます。QRコードをスキップしてボリュームコントロールメニューにアクセスするには、ロータリーエンコーダーを押してください。



## Veritasコントロールメニュー オプション

### 音量、高音、低音の調節

ロータリーエンコーダーを押して、希望するコントロール (Volume、Treble、Bass) がハイライトされるまで切り替えます。

**音量の調節:** ロータリーエンコーダーを回して、希望の音量に調節します。



**高音の調節:** ロータリーエンコーダーを回して、希望の高音レベルに調節します。

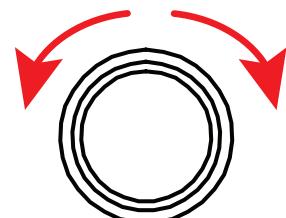
**低音の調節:** ロータリーエンコーダーを回して、希望の低音レベルに調節します。

### 製品設定とコントロール オプション

その他の製品コントロールにアクセスするには、ロータリーエンコーダーを3秒間以上押し続けます。



メニュー オプションを選択するには、ロータリーエンコーダーを回して希望のオプションをハイライトし、ロータリーエンコーダーを押して詳細設定を表示します。



**EQ:** ロータリーエンコーダーで希望のEQプリセットを選択します。

**注:** Veritas 2160BH モデルでは、「EQ1」と「EQ2」を選択し、ゾーンごとに個別のプリセットを指定することで、2つのEQプリセットを設定できます。

**Aux Out:** 「Fixed」を選択すると、音量に影響されずにAUXの出力レベルが固定されます。「Variable」を選択すると、AUXの出力レベルが音量に連動します。

**Aux Page:** 「Yes」を選択すると、AUX出力にページング音声を送ります。「No」を選択すると、AUX出力にページング音声を送りません。

**注:** Veritas 2160BH モデルでは、「Aux 1 Page」と「Aux 2 Page」のオプションを指定することで、ゾーンごとに2つのAuxページオプションを設定できます。

**Src Sel:** ControlCenter CC-1ゾーンコントローラーが接続されている場合、アンプ前面の切り替えスイッチのソース選択を再び有効にするには「Front」を選択してください。

ControlCenter CC-2ゾーンコントローラーが接続されている場合、リモコンコントロールのソース選択を優先するには「Remote」を選択してください。

ControlCenterゾーンコントローラーが接続されていない場合、どのオプションを選んでも前面のスイッチでソース選択をコントロールします。

**Dyn EQ:** ダイナミックEQを「On」または「Off」にします。ダイナミックEQは音量に応じて自動的に低音レベルを調節します。

**Auto Standby:** 自動スタンバイを「On」または「Off」にします。自動スタンバイは、オーディオ信号を20分間受信しないと自動的にアンプをスタンバイモードにします。オーディオが再開されると、自動スタンバイは解除されます。

**Input A/BT:** 「BT」を選択すると、ブルートゥース<sup>®</sup>ワイヤレス接続のソースが優先されます。「A」を選択すると、ブルートゥース<sup>®</sup>ソースより、RCA入力Aを使用します。デフォルトのソースは「A」です。

**注:** Veritas 2160BH モデルでは、「A/BT1」と「A/BT2」の両方のオプションを指定することで、ゾーンごとに2つのソースオプションを設定できます。

**BT Settings:** 「Connect」を選択すると、アンプがペアリングモードになり、ブルートゥース<sup>®</sup>デバイスと接続できます。ペアリング中はLEDが点滅し、ブルートゥース<sup>®</sup>デバイスと接続されると点灯します。

「Forget Device」を選択すると、ブルートゥース<sup>®</sup>デバイスの接続を解除してアンプのメモリから削除します。

「Name」を選択すると、ブルートゥース<sup>®</sup>ワイヤレス接続の識別名を設定できます。デフォルト名は「ZONE1」です。

**注:** 新しい名前を選択した場合、変更を反映させるには、アンプの電源を入れ直す必要があります。

**Scrn Lock:** 「Vol Active」を選択すると、音量以外のすべてのコントロールをロックします。

「All Controls」を選択すると、音量も含めてすべてのコントロールをロックします。

「Disable」を選択すると、画面ロックを解除します。

OLED画面のロック解除用PINコードを設定するには、「Set PIN Code」を選択し、4桁のPINコードを入力します。デフォルトのPINコードは「0000」です。

**Web QR:** QRコードをスキャンして、Veritasの製品ページにアクセスします。

**System Info:** 最新のファームウェアバージョンがここに表示されます。

「Factory Reset」を選択すると、アンプが工場出荷時の状態にリセットされます。